

高齢者の雇用に関する実態調査  
調査結果

## ◆ 調査の概要

### ◆ 調査目的

高齢期の雇用に対する企業の意識や実態等を調査し、課題を分析して、今後の施策に活用する。

- 企業における高齢者雇用の状況や、高齢者を雇用する際の課題を把握
- 職場環境整備への支援や求職者とのマッチング支援に活用

### ◆ 調査対象

山口しごとセンター登録企業 1,900社

### ◆ 有効回答数

1,094社（有効回答率57.6%）

※ 本調査では、「高齢者」を65歳以上として調査を実施した。

## ◆ 調査結果の集計・分析について

回答企業全体の集計・分析のほか、一部の設問については、「従業員規模」「業種」で集計・分析を行った。

## ◆ 調査結果のポイント

### ◆ 高齢者の雇用・就業継続

- ・ 約7割の企業が「進める必要がある」と回答しているが、業種別に見ると、製造業で58.1%、医療・福祉業で84.4%など、業種によって大きな差が見られる。
- ・ 高齢者の持つ資格や能力・経験に期待しているほか、若者や中堅世代の人材確保が困難なため、という回答も多い。

### ◆ 高齢者の雇用形態・仕事内容

- ・ 雇用形態は、全体では「パート・アルバイト」が最も多いが、従業員規模別で見ると、100人未満の企業では「正社員（フルタイム）」が、100人以上の企業では「パート・アルバイト」が最も多いなど、規模によって違いが見られる。
- ・ 仕事内容では、多くの企業が「専門的・技術的な仕事」を期待している。

### ◆ 高齢者が働きやすい職場環境づくり

- ・ 高齢者が働きやすい職場環境づくりのための取り組みでは、「希望に応じた柔軟な労働時間や休暇制度の導入」や「従業員の健康管理」が多い。

### ◆ 高齢者を雇用するための課題・必要な支援

- ・ 「従業員の健康管理・安全確保」や「能力や体力の個人差が大きい」ことを課題として挙げる企業が多い。
- ・ 必要な支援として、半数以上の企業が「人件費等への助成」を挙げているほか、「法制度や助成金などの情報提供」や「求職者とのマッチング」を挙げる企業が多い。